

水害対策に全力をあげています

6月の市議会で



宮本秀国市議は6月議会で市の水道事業について質問しました。宮本市議は、福岡市の水道料金が18政令市中5番目に高い実態をしめし、市民意識調査でも「水道料金が低い」「引き下げてほしい」という声が多く出ていることを紹介。

他方で水道事業会計に60億円もためこんでいる経営のあり方を批判し、こうしたためみななどの活用で料金引き下げができるはずだと市長に迫りました。

ダム建設で逆に取水が減った

莫大な税金を投入する五ヶ山ダム、大山ダム建設は利水（福岡市の渇水対策）を口実としていますが、宮本市議は水需要が計画よりもはるかに低い実態を明らかにしました。

それどころか、市が約100億円もの財政負担をする大山ダム建設によって、逆に福岡市が筑後川から取れる水が日量2万1000m³も減り、その分を市内の他の河川から取るという事実を暴露。ダムが不要だったことが鮮明になり、宮本市議は今後のダム建設の中止を求めました。

宮本市議
が質問

水道料金引き下げせまる ダム建設のムダが明らかに

7月14日の豪雨で市内約6万人に避難勧告が出され、南区でも崖崩れ（和田・寺塚・松原・老司）、道路の損壊（日佐）、冠水（横手）などの被害が出ました。
右写真の向新町2丁目では河川敷の大树が倒れ浸食拡大の危険が…。宮本秀国市議はただちに現地を調査し、市に対応を要求。倒木の撤去と跡地の補強対策をとることになりました。



昨年7月の集中豪雨で那珂川では床上浸水などが発生。宮本市議は昨年9月の議会で那珂川の川底を掘り、護岸整備をするよう求め、今年3月の議会などその後早期の河川改修を要求してきました。
こうした中、灘の川橋（中央区春吉）から橋本橋（那珂川町）の約14キロの区間で、河床掘削、護岸整備、橋の改築、番托井堰（ぼんたくいぜき）の改築などを内容とする5カ年の計画を県はうちだしました。
今年度は17億円の予算がつき、測量調査設計を中心に、河川の掘削や

若久5丁目できり返された浸水 雨水管つけ被害なくなる

若久5丁目豪雨時に浸水被害がくり返される地域があり、宮本市議は住民から相談を受け、現地を調査。市に改善を提案しました。雨水管が設置され、以後2年間浸水の被害は起きていません。住民に「宮本さんに熱心にとりくんでもらって助かった」（同地域の松崎克己さん）と喜ばれています。



雨水管が設置された部分を指摘する宮本市議

護岸工事がおこなわれます。

17億円の予算がつき、工事すすむ 宮本質問みのり、 那珂川の浸水対策実現



宮本秀国
市議会議員

日本共産党

南区民報

2010年8・9月号外

宮本秀国市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。（日本共産党中央南地区委員会 tel.526-2133）

発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627

無料法律・ 生活相談会

電話 (526) 2133 へ
まずはお気軽に

- 多重債務、生活保護、相続、離婚、訴訟、市政・県政や地域の問題など何でもどうぞ。
- 毎月各地域の公民館や党事務所などで実施しています。

「しんぶん赤旗」を 読みませんか

- 日刊紙／月2900円
- 日曜版／月800円
- お申込は電話 (526) 2133

野間中・筑紫丘中・三宅中
三宅小・若久小・東花畑小

学校ウォッチング 老朽・危険箇所をチェック



建設労働者や女性団体など市民とともに市内小中学校の施設の現状をチェックする「学校ウォッチング」。7月26～27日に宮本市議も参加しました。

若久団地 追い出しやめよ

宮本市議が6月議会でひきつづき迫る



UR(旧公団)若久団地で「全面建替え」方針の説明が開始され、住民の不安が高まっています。宮本市議は、6月議会でこの問題をとりあげました。

倍の家賃では戻れない 市側「市住に応募可能」

URは建て替えて3割分しか戻ってくる人の住宅を用意していません。宮本市議は「家賃が2倍以上になるからだ。高い家賃が押しつけられては戻れない」と批判。市の認識をただしました。市側は、「入居条件を満たせば市営住宅への募集は可能」と答弁しました。

定期借家契約の導入 みとめるな

宮本市議は、一定年限がきたら住む権利を奪う「定期借家契約」をもちこまぬようURに要請を、と求めました。吉田市長は今回の問題について「すべての希望者が入居できるようにUR側に求めていく」と答弁しました。

国の保育制度改悪 ゆるしません

保育園を探す責任が市から親に押しつけられ、パートとフルタイムで保育時間に差別が……国の保育制度改悪に反対する福岡市保育協会の決起集会が市内であり、宮本市議も参加しました。

宮本市議は、6月議会で、改悪反対を国に求める意見書を市議会で提案。賛成多数で採択されました。



保育協会の決起集会に参加した宮本市議

6月議会で共産党が引き下げ要求



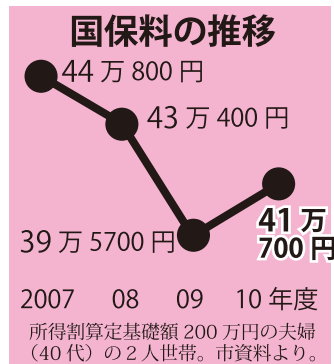
国保料引き上げ 「負担が軽減する」と市民や 協議会をあげむく説明で 年1万6千円の値上げ

市は6月、今年度の国保料を確定。所得割料率を11・98%と前年度から0・73引き上げました(介護分を含めると14・87%)。これによって、年所得200万円の3人世帯の場合、1万5900円の値上げになります。

市側「加入世帯の所得減が理由」

日本共産党は6月議会でこの問題を厳しく追及。市は「国保加入世帯の総所得が減ったから」などと答弁しました。日本共産党は、国保加入世帯の平均所得が1割も減ったことを示し、「所得減の世帯に保険料引き上げなど絶対にやってはならないことだ」「一般会計繰入を増やしても、生活が苦しい世帯への打撃は避けるべき」と批判。引き上げを撤回し、引き下げを要求しました。

日本共産党は、市が国保運営協議会で中間所得世帯の保険料が軽減されると説明していたことを指摘。「国保料引き上げは協議会の意向を無視するものだ」と追及しました。



有馬精一さん 市長選へ出馬へ 国保料引き下げ運動の先頭に



6月市内で、日本共産党も参加する「市民が主人公の福岡市をつくる市民の会」から、国保引き下げ運動の先頭にたってきた有馬精一さん(59歳)が、今年11月の市長選挙に出馬を表明しました。

※所得200万円の場合